

26 日目 : アップデートとか…

30 日くらいでと目指していたのですが、とりあえずこのあたりで一区切りつきそうです。本日は、R のメンテナンス (?) に関することを少し。

まず、R 自体のアップデートです。R は結構な頻度でアップデートがあります。個人的経験として、とってきたパッケージが、より新しい R を要求することがありました。いくつか問題も出てきそうなので、アップデートには対応しておく方がよいのでしょうか。

ネットに接続されている状態で、R のメニューバー「R」から「R のアップデートを確認」を選択します。最新版になっていれば R コンソールに「Your version of R is up to date」と表示されます。より新しいものがあれば、ダウンロードのサイトが開くはずですが。

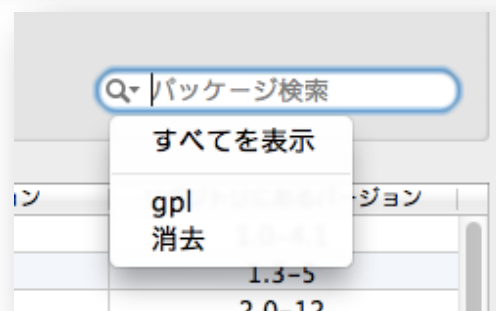
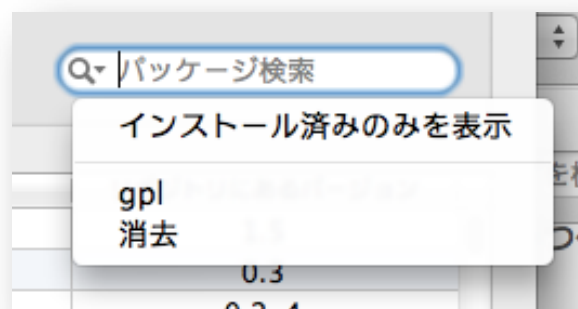
アップデートは、ダウンロードしたパッケージを普通に展開すれば新しいものに置き換えてくれるようなので、特に手間を必要とするのではないと思います。ただ、Dock に入れているものは自動的に置き換わらないようですので、いったん外して、新しくインストールしたバージョンを登録し直すことが必要なようです。

R 本体もそうですが、パッケージもアップデートされます。パッケージのバージョン確認は、パッケージの導入と同様に、メニューバーの「パッケージとデータ」から「パッケージインストーラ」を選択します。

パッケージの導入と違うのは、ここで自分の PC に導入されているパッケージのバージョンと、ネット上にある最新バージョンの比較をるところです。

そのために R パッケージインストーラの画面の、その検索部分、虫眼鏡のアイコンの隣にある▲をクリックすると、右のようなメニューが開きます。ここで「インストール済みのものを表示」を選びます。もしそれがなく、「すべてを表示」になっていれば、いったんこれを選び、再度虫眼鏡のアイコンの隣にある▲をクリックすると「インストール済みのものを表示」が出てくると思います。そして「一覧を取得」をクリック。

「リポジトリにあるバージョン」の欄が最新版



で、「導入済みバージョン」が自分のPCにあるバージョンです。「導入済みバージョン」が古い場合、それをアップデートするのですが、一つひとつチェックしなくても、ウインド右下にある「すべてアップデート」をクリックすれば、最新版とバージョンが異なるものをすべて見つけてアップデートしてくれます。

確認のための小さなウインドが開きますが、全部アップデートしたければ、そのまま「OK」をクリックします。これでパッケージのアップデートは終了です。

さて、Rのパッケージには依存関係があり、あるパッケージを作動させるために他のパッケージが必要な場合があります。そのため、あるパッケージを作動させる際に警告が出ることもあります。いちいち警告に対応するのではなく、依存関係にあるパッケージをすべて一度に持ってくる方法があります。あるパッケージをとってくる際に、Rパッケージインストーラの画面の、右下で「選択をインストール」をクリックする前に、その下にある「依存パッケージも含める」にチェックを入れておきます。こうすると、選択したパッケージと依存関係にあるパッケージも自動的にインストールしてくれます。

ただ…ですが、このあたり、挙動が不安定になりやすいです…

余談ですが、パッケージをインストールすると
ダウンロードされたパッケージは、以下にあります

```
/var/folders/82/9p4zvj0513xdt08skvwmst840000gn/T//RtmpkrDxoZ/downloaded_packages
```

このような表示がRコンソールに出てきます。しかし、Finderからそれを見つけることはできません（通常…）。これはいわゆる不可視ファイルであり、Macの通常の設定では見えない（表示されない）ものなのです。もちろん見えるようにする方法もありますが、通常の利用では見えなくても特に問題はないと思います。ダウンロードしたはずなのに、ファイルが消えてしまった！というわけではありませんので。

ここまでやってくれば、調査系の卒論であれば、ほぼ対応できるのではないのでしょうか。もちろん、この資料だけで何とかなるというほど詳しくは書いていませんが、これくらいを知っていれば、他の資料にあたった時に理解しやすいのではないかと思います。